

( 出典 )

From Bilology and the Food Industry by H.R.Barnell, Edward Arnold Publishers Ltd., 1976

問 1 下線部 は具体的にどのようなことが説明しなさい。

( 考え方 )

efforts に下線が引いてある。the がついていないので、すでに既出とは考えられない。このセンテンスの後ろか、センテンスの中にあると推測できる。幸い本文中に to make food more convenient from the point of view of storing, distributing, preparing and cooking とあるので、この to 不定詞の形容詞用法が「努力の中身」だとわかる。よって、これを日本語にすると effort( 様々な努力 )の内容を説明できる。

( 解答例 )

貯蔵、分配、準備、調理の観点から食料をもっと便利なものにしようという様々な努力

問 2 下線部 を和訳しなさい。

( 考え方 )

文中に not but 構文、単語としては deserve ( 値する ) before ( ~ に直面して )があるので、それらを的確に把握して内容がわかるような訳を試みること。

( 解答例 )

コンビニエンスフードというのは、現在一般的に受け入れられるようになった意味で「新しい食料」というのではなくて、技術がもたらした比較的新しい型の様々な食べ物に直面して、この論文での若干の考察に値するものなのである。

問 3 下線部 では”convenience foods”をどのように定義しているか 1 5 0 字以内で述べなさい。

( 考え方 )

この下線部は「convenience foods are defined as A」のAの直前まで下線が引いてあるので、要するにAの部分を読めばよいことになる。「X are defined as A」とは「XはAと定義されている。」の意味だからである。

Aの部分には those A which ~ ( ~する A )が使われている。あとは前置詞付き関係代名詞に気をつけることと、関係代名詞の二重制限に気をつければよい。どちらも高校英語の範囲である。those processed foods for which A and which B は「A であり B であるような加工された食べ物」となればよい。他に「less + 形容詞 + 名詞」を「あまり ~ されていない・・・」と否定で訳すこと。

( 解答例 )

調理の段階が製造者によってある程度進んだ段階まで施されたもので、それほど高度に加工されてい

ない生産物に対して手間を省く選択肢として使われる可能性のある加工済みの食品と定義されている。

問 4 下線部 を日本語に訳しなさい。

( 考え方 )

個々にはいくつかの大事な項目が入っている。しかしすべて高校英語の最重要ポイントであるので、良問であると言える。

including( 前 ~を含んで ) those( 代 ~する人々 ) it is likely that( ~する傾向にある ) it is evident that( ~することは明白だ ) be ready to ( 進んで ~する ) storage( 貯蔵 ) property( 特性 ) ,which ( 非制限用法 )

( 解答例 )

コンビニエンスフードというのは、ケータリングで使われるものも含めると、現在は食料市場全体の約 2 5 %を占める。そして今後ますます多くのコンビニエンスフードが、主婦が徐々に家の外で働くようになるに従って、もっと使用されるであろう。

主婦がますます進んでコンビニエンスフードを受け入れるのは明白である。というのも、それらは貯蔵特性に優れ、缶詰食品よりも重さの点で軽いからである。

以上

対策を以下にあげる

文法分野 高校既習事項をしっかりとマスターすること。Nextstage ( 桐原書店 ) で十分である。

語彙分野 データベース 3 0 0 0 レベルで十分 それ以上は注がつく。

読解分野 高校の読解演習の上級レベルを日頃、よく読む習慣をつけること。

「 字でまとめよ」と言っても、英文さえ読めていれば解答が素直に出るので、読解練習をよく積む。

( レベル 山口書店 長文と文・作・語法の 2 0 章が練習にうってつけ )